

町田市議会だより



市議会ホームページもご覧ください。

<https://www.gikai-machida.jp/>

町田市議会へのご意見をお寄せください。

電話 042-724-4049 FAX 050-3161-7663

eメール gikai@city.machida.tokyo.jp

- ・お寄せいただいたご意見の要旨が広報紙等で紹介される場合がございます。ご了解の上、送信ください。
- ・第三者の誹謗、中傷、個人情報などは送信しないでください。
- ・原則として個別の回答は行いません。



臨時号

令和2年3月19日発行

編集：議会運営委員会 発行：町田市議会 〒194-8520 町田市森野2-2-22

熊沢あやり 議長 おく栄一 副議長 を 選 出

3月定例会では、2月21日に議長、2月25日に副議長の選挙、3月18日に常任委員会などの議会人事の改選等が行われました。熊沢あやり議長（自由民主党）、おく栄一副議長（公明党）を選出しました。

就任のあいさつ



熊沢あやり 議長

私は、議員各位のご推挙により議長並びに副議長の要職に就任いたしました。微力ではございますが、責務の重大さを自覚し、市民の負託に応えるため、市民本位の議会運営に誠心誠意努めてまいります。



おく栄一 副議長

地方議会を取り巻く環境は大きく変化を遂げております。自治体の裁量権と責任が増えたことにより、私たち議会には行政に対する監視機能に加えて、これまで以上に審議能力、政策立案機能の強化が求められております。

会派構成

- 自由民主党**
- いわせ和子 星だいすけ
 - 木目田英男 石川 好忠
 - 渡辺厳太郎 松岡みゆき
 - 三遊亭らん丈 若林 章喜
 - 熊沢あやり 藤田 学
 - 佐藤伸一郎 おさむら敏明
- 公明党**
- 山下てつや 村まつ俊孝
 - 斉藤かつひろ おんじょう由久
 - 松葉ひろみ おく 栄一
- まちだ市民クラブ**
- わたべ真実 東 友美
 - ちだ 伸也 佐藤 和彦
 - 森本せいや 戸塚 正人

保守の会

- 白川 哲也 深沢ひろふみ
- おげき重太郎 吉田つとむ
- 大西 宣也

日本共産党

- 細野 龍子 田中 美穂
- 佐々木智子 殿村 健一

諸派

- 新井よしなお 矢口 まゆ
- 友井 和彦

（令和2年3月18日現在）

○は会派代表者

会派名	人数
自由民主党	12
公明党	6
まちだ市民クラブ	6
保守の会	5
日本共産党	4
諸派	3
計	36

新型コロナウイルス感染症に関する対応について

町田市議会では、市が迅速に対応をし、現場に専念できるように、令和2年3月定例会の日程を変更し、一般質問は中止となりました。その他の日程については、市議会ホームページをご覧ください。

会派の抱負

会派とは、市民の生活に密着した様々な施策を市政に反映させるため、同じような考え方や意見を持つ議員同士のグループのことをいいます。3名以上で構成される会派について抱負を掲載しています。

自由民主党

「明日の未来を切り拓く」自由民主党会派は、先人達が築き上げてきた日本の伝統と文化を尊びつつ、市民や地域の声や思いを形にする。そして、責任と実行力をもって行政に対し積極的に政策を提言する会派です。

私達は、国政・都政・市政の緊密な連携、安定した政治の実現、そして、「町田のまちづくり」を目指します。

①次世代を担う子ども達のために、よりよい教育環境の整備、充実した子育て支援に取り組みます。

②高齢者が、いきいき暮らせるような社会環境を整備し、住み慣れた地域で過ごせるように、公共交通の充実等に取り組みます。

③2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、スポーツ環境の充実を図り、「町田」のスポーツ並びに文化の発展に取り組みます。

④昨今、発生の続く大規模災害、感染症等への対策の強化を図ります。これからの政策実現、地域に根差した活動を展開していきます。

公明党

公明党は、立憲精神である「大衆とともに」を原点とし、一人一人から寄せられた切実な「小さな声」を政治に反映させてきました。今後も、子育て、教育、福祉を政治の柱として、政策実現に取り組みます。具体的には、①防災・減災対策②熱中症対策③いじめ虐待根絶④妊娠・出産・子育てトータルケア確立⑤小中学校給食無償化⑥ユニバーサル社会の構築⑦障がい者施策の充実⑧食品ロス削減の推進⑨身近な地域で多様な健康

「まちだ市民クラブ」は、2つの政党・地域政党・無所属の議員からなる6名の会派です。市政に対する考えをもとに結集し、市民の目線・立場第一で考えて参ります。

まちだ市民クラブ

「まちだ市民クラブ」は、2つの政党・地域政党・無所属の議員からなる6名の会派です。市政に対する考えをもとに結集し、市民の目線・立場第一で考えて参ります。

①「公共施設再編計画」について、慎重な運用を。

②「若年層の定住」を応援できるまちづくりを。

③全世代が「スポーツ」できる地域環境の充実を。

保守の会

町田市民は町田市が好き人が多いと聞くことはありませんか。実際のところどうでしょうか。市民意識調査では、町田市に対して愛着や親しみを感じているかという質問に対し「感じている」が24.7%「やや感じている」が42.3%となっています。町田市が誕生して62年が経過しました。その1年1年の積み重ね、1日1日の積み重ねの中で町田市が形づくられ、市民が愛着を感じていくのだと思えます。これまで先人たちが築き

日本共産党

現市政は、にぎわいのあるまちづくりを目指し、野津田公園スポーツの森、芹ヶ谷公園芸術の杜、南町田グランベリーパークなど、いわゆる4つのより整備や中心市街地の再開発計画などの大型公共事業に莫大な財政を投入する計画が進められています。一方、国民健康保険税や公共施設料金を値上げし、身近な図書館や小学校を統廃合するなど市民へのしわ寄せが行われています。自治体間の競争にばかり目を奪われてハコモノをど

振るうコロナウイルス等対策にも、全力で取り組みます。また議会改革調査特別委員会では、市民に開かれた議会を目指し、活発な議論を行っています。市民の皆様におかれましては、ご意見・ご要望など、気軽にお寄せ下さい。

日本共産党市議団は、自治体らしい自治体へ、大型開発の優先をやめ、市民の暮らし、福祉、教育第一の市政実現に取り組みます。災害や感染症から市民の命を守り、国保税の引き下げや中学校全員給食、子どもの医療費助成拡充、保育園や特別養護老人ホーム増設など市民の切実な願いを実現するために力を尽くします。